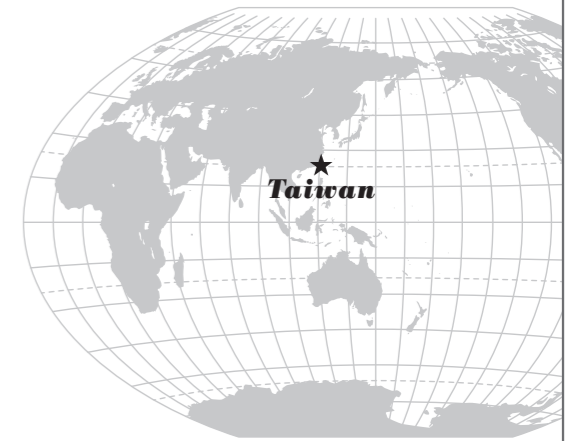


台北ドーム 新築工事



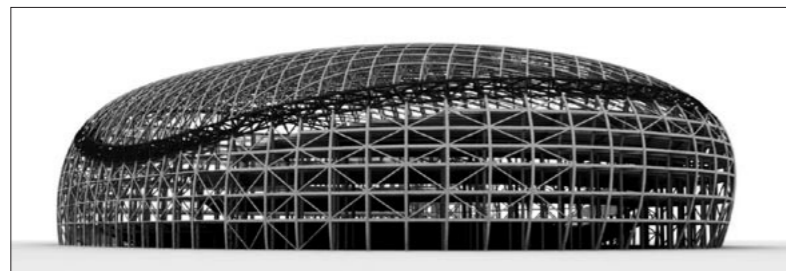
株式会社大林組 海外支店 台北ドームJV工事事務所 所長

阿部 智

Satoshi Abe



工事現場（全景）



多目的ドーム球場の鉄骨屋根形状



世界で活躍する
日本の建設企業

立地条件

台湾の首都台北市では、幾多の再開発案件が計画され、計画が進むにつれ、日々その大きな変貌を目にすることができている。中でも猛烈な勢いで再開発を推進している台北市東区と信義計画区は、台北市の再開発推進の「二大エンジン」とみなされているが、この二つのエリアのうち、うど真ん中に、これから紹介する「(仮称)台北ドーム新築工事」は立地している。また、こうした立地条件に加え、すぐ目の前に、国父記念堂という大きな緑地も兼ね備えているため、多くの人を呼び寄せる条件を満たしている。多目的ドーム球場と附属商業施設を事業者から受注することができた。

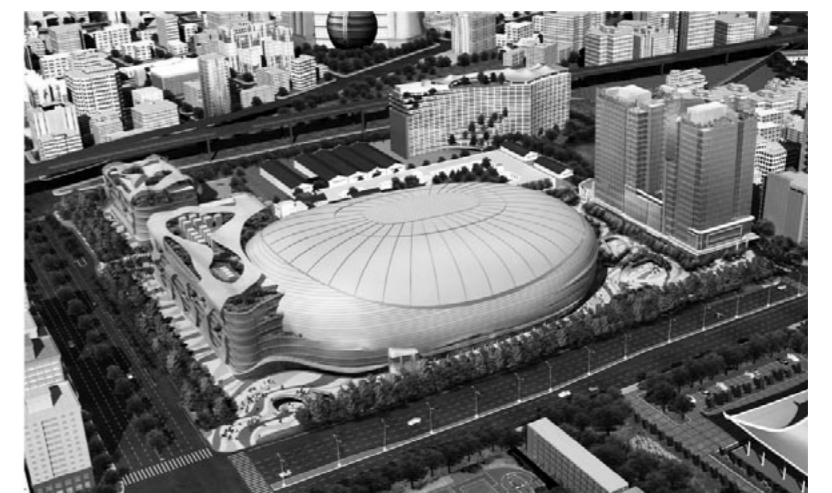
プロジェクトの紹介

当プロジェクトは台北市に多目的ドーム球場、商業施設、ホテル、事務所、シネマ等を建設するもので、台湾最大手デベロッパーの遠雄（FARGLOREY）グループ（中華民国台湾台北市）が二〇〇四年五月に入札を経て台北市からBOT（建設・運営・委譲）事業者として選定されたものである。

当社の豊富な実績と高度な技術力を評価され、多目的ドーム球場と附属商業施設を事業者から

工事概要

多目的ドーム球場は地下五階RC造、地上六階S造。附属商業施設は地下三階RC造、地上五階S造である。設計は地元台湾の設計会社。のほか、香港やオーストラリアの設計会社も名を



完成予想パース

最後に

工事の完成までには様々な困難が予想されるが、発注者のニーズに十分応え、地元台湾の皆さんに喜んでもらえる日を楽しみにして、無事完成させたいと願っている。



地中連続壁の構築